

大田原市議会議長



新年あいさつ



議長 高野 礼子

副議長 君島 孝明

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政発展のため多大なるご支援とご協力をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。
昨年を振り返りますと、私事ではございますが、体調を崩し、入院生活を生れて初めてのことの幸せを改めて実感いたしました。その間、市民の皆様、市の執行部並びに君島副議長はじめ議員の方々には大変ご迷惑をおかけいたしました。今後は、一意奮闘してまいります。
さて、平成最後の新年を迎えたわけですが、本市においては、待望の新庁舎が完成し、1月

4日開庁となります。これもひとえに市民の皆様のご理解とご協力の賜と感謝いたしております。また、中田原工業団地には、(株)資生堂那須工場が本年の創業開始に向け着々と工事が進んでいる状況を見ますと、市の将来の展望にも明るい兆しが見えております。そのような中、議会は市政運営にあたる上で、憲法で定められている二元代表制の一翼を担っており、議会の大きな役割としては、市長が提案した施策を最終的に決定する議決機関であること、市の行う事業が適切に実施されているかをチェックする監視・評価機能であることであり、このような使命を果たさなければならぬ議会において、「市民に開かれ

た議会」を目指し、議員一人ひとりが議会基本条例を念頭に、市民から選ばれた議員として、職責の重さを自覚して、活動していかなくてはなりません。
今年の十一月には、市議会議員選挙があり、議員定数も五人減の二十一人となります。任期最終年となることから、議員一同市民の皆様とともに、「知恵と愛のある 協働互敬のまち おおたわら」実現に向け、より一層最善を尽す覚悟でございます。
市民の皆様には、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと、今年一年間の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。